

千葉市の小学生、働く農機を体験 — ナイルワークス、ドローン飛行を実演 —

株式会社ナイルワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小嶋 康弘、以下「ナイルワークス」）は、株式会社マイファーム（京都府京都市、代表取締役：西辻 一真、以下「マイファーム」）が運営を行う千葉市の農育講座で農業用ドローンの飛行を行いました。

ドローン・トラクター ～働く機械を見てみよう！～

千葉市では、農育講座「～What is 農？～」を開催しています。千葉市内の小中学生を対象に、「農」や自然と触れ合う機会を提供し、農業への理解や関心を高めることを目的としています。

2023年8月22日（火）の農育講座「ドローン・トラクター ～働く機械を見てみよう！～」では、小学生3・4年生20人が参加しました。この講座で、ナイルワークスは農業で活躍するドローンを紹介しました。



農育講座の様子

ドローン飛行の仕組みを考える

ナイルワークスは、農業用の自動飛行ドローンを開発しています。その知見を活かし、ナイルワークスのスタッフより、ドローンが飛ぶ仕組みとして、プロペラとバッテリー構造を解説しました。子どもたちは、牛乳パックとストローで作った竹とんぼの羽を折り曲げ、ドローンのプロペラ構造について考えます。羽を折り曲げる方向は、利き手によっても異なります。ドローンのプロペラの形を参考に、竹とんぼを高く遠くへ飛ばす方法を工夫します。また、ドローンのバッテリーを手に持ち、ドローンが飛ぶためのエネルギー量の大きさを想像します。子どもたちは、「バッテリーは、思ったよりも重い！だから、大きなドローンが飛べる！」と発見し、驚いていました。



ドローンのプロペラを参考にしながら、竹とんぼを制作



ドローンのバッテリーを手にし、ドローンに興味津々

そして、ドローンの飛行を見学しながら、肥料や農薬散布にドローンが活用されていることを学びます。ナイルワークスのドローンは、ボタン一つ押すだけで、自動で飛行します。その飛行を見ると、「パパは、自分で撒いているから大変そう。ドローンがあると便利そうだ！」との声もあがりました。



ナイルワークスのスタッフによるドローン飛行の実演

作物を育てるための土づくりを体験

ドローン飛行に続き、マイファームのスタッフより、鍬とトラクターの違いが紹介されました。マイファームは、「自産自消のできる社会」を目指し、「農業って楽しい！」を生み出し広げる事業を展開しています。日常では、固いコンクリートの上を歩くことの多い子どもたちは、柔らかい土の感触を楽しみます。作物が育ちやすい環境を作るために重要な土づくり。鍬で土を耕すより、トラクターを活用することで、労力削減や時間短縮につながることを体感しました。



マイファームのスタッフによる鍬とトラクターのレクチャー

体験が、未来をつくる

ナイルワークスでは、今後も、このような機会を大切にしたいと考えています。体験をきっかけに、物事の意義や本質を探る探求心を育み、次世代に農業をつなげる活動にも取り組んでいきます。



楽しそうな子どもたち

■ 関連情報

千葉市農育講座 : <https://chiba-noiku.netlify.app>

マイファーム : <https://myfarm.co.jp>

■ 会社概要



設立 : 2015 年 1 月

所在地 : 東京都千代田区神田錦町一丁目 4 番 3 号

代表者 : 代表取締役社長 小嶋 康弘

事業内容 : 農業用ドローンの開発、製造、販売

デジタル農業・農業 DX における技術開発、サービス提供

農作業マッチングサービスを提供

URL : <https://www.nileworks.co.jp>

以上

本件に関する問い合わせ先

株式会社ナイルワークス 広報

TEL:03-5577-3071 Email:pr@nileworks.co.jp